

Rie Asai Classical World Tour



2023年10月20日。

世界遺産サン・パオロ・フォーリ・レ・ムーラ大聖堂で、
世界平和を祈るコンサートが開催されました。
その名は、Religioni unite in musica。

バチカンからの公式招聘にて日本人として初めて
出演した浅井りえ。

名古屋出身の浅井りえが、いま再び、ふるさと
名古屋で、安寧と平和の音色を奏でます。
心からの愛を込めて。

世界の箏姫が贈る『愛 Amore』

～名古屋ヴィルトゥオーゼンとともに～

2024年1月11日(木)

開演 19時00分(開場 18時30分)

会場 電気文化会館 ザ・コンサートホール

地下鉄でお越しの方 東山線・鶴舞線「伏見」駅4番
出口より東へ徒歩2分

一般自由席 前売 ¥5,500- 当日 ¥6,000-

チケット代の一部は、世界の貧困根絶への寄付となります。

※やむをえず、曲目など変更がある場合があります。あらかじめご了承ください。
※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。
※団体のお客様の為に席の一部を確保させていただく場合がございます。

主催 生田流箏曲 千景の会

後援 名古屋市

名古屋市教育委員会

■お問い合わせは 箏曲 千景の会 070-1710-7887

愛 Amore



曲目

安寧の祈り (浅井りえ)

Path to LOVE (浅井りえ)

G線上のアリア (パッパ)

ラ・カンパネラ (リスト)

『カヴァレリア・ルスティカーナ』より間奏曲
(マスカーニ)

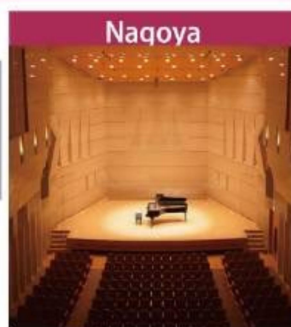
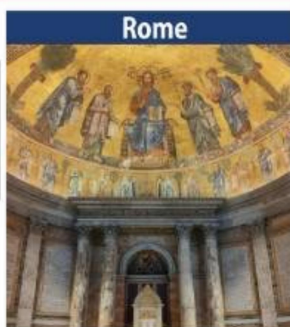
トリッチ・トラッチホルカ
(ヨハンシュトラウスII)

ウィーンの森の物語
(ヨハンシュトラウスII)

他

監修 湯浅 樹

Classical World Tour 2022年9月～2024年1月



ローソンチケットにて、プレイリクエスト先行受付決定!!

受付期間 2023/11/1(水)10:00～2024/1/7(日)23:59

チケット・先行の詳細は

世界の箏姫が贈る『愛 Amore』 Lコード: 43126

検索

Profile

箏 浅井りえ

箏アーティスト・作曲家。3歳で初舞台。幼少期より役役として芸能界で活動。NHK「邦楽のひととき」、カンボジア・パイロンTV、愛知県『伎芸精髄〜あいちのエスプリ〜』、婦人画報「美しいキモノ」等メディア出演多数。

作曲家としても近年ヒット曲を輩出。浅井りえ作曲『安寧の祈り』は、祈りの曲として国際的に評価され、世界各国から招聘を受ける。世界遺産シェテファン大聖堂や浅草神社、椿大神社等グローバル活動と共に奉納演奏に尽力。

箏・三絃を、母である箏曲千景の会家元浅井大美子（地域文化功労者、愛知県表彰）に師事。アセアン60周年記念カンボジア芸術文化祭、日本・オーストリア150周年記念ウィーン国立劇場ジャパンカルチュラルフェスティバル、世界遺産シェテファン大聖堂他、世界15カ国にて演奏するなど、グローバルなアーティスト活動を展開。

英国国立ウェールズ大学経営大学院修士課程 MBA with distinction 修了。

東京大学大学院教育学研究科研究生修了。国際交流基金日米センター NPO フェロー。日本青年会議所人間力大賞外務大臣賞受賞。

オリジナルアルバム

「安寧の祈り」 (2023年1月25日発売)、
「Once in a Blue Moon」 (2023年3月25日発売)
「愛 Amore」 (2023年10月6日発売)

箏曲千景の会浅井りえ
YouTube チャンネル



Instagram :
koto_artist_rie



KOTO_ARTIST_RIE

NAGOYA VIRTUOSEN
<https://virtuosen.jp/>

名古屋ヴィルトゥオーゼンは2004年、名古屋フィルハーモニー交響楽団の奏者を中心に結成されました。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のトップ奏者で結成されたアンサンブル「ウィーン・ヴィルトゥオーゼン」より名前を貰い、様々な編成の室内楽に取り組んでいます。

ヴァイオリン 矢口十詩子

名古屋市立菊里高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部器楽科弦楽専攻卒業。同研究科修了。1999年、アフィニス文化財団より奨学金を得てロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・ミュージックに留学、ディプロマを取得。2001年に帰国リサイタルを開催、読売新聞にて「名古屋地区における貴重なヴァイオリニストである。」と評される。2005年名古屋市民芸術祭2005審査員特別賞を受賞。名古屋フィルハーモニー交響楽団2ndヴァイオリン首席を経て現在アシスタントコンサートマスターを務める。ザ・ストリングス名古屋、名古屋ヴィルトゥオーゼン、トリオ de プランツ等のメンバーとしても多彩な演奏活動を行っている。
菊里高等学校音楽科非常勤講師。

ヴィオラ 石橋直子

5歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業。同大学研究科修了。(22歳でヴィオラに転向する。米・コロラド州アスペン音楽祭に参加。露島国際音楽祭にて特別奨励賞を受賞。南日本テレビ放送賞を受賞するほか数々のコンクールで入賞する。桐朋学園創立記念祝典での演奏をはじめオーケストラとの共演、リサイタル、その他にレコーディングから「ポップアーティスト」のサポートメンバー等ジャンルを問わず幅広く活動する。)桐朋オーケストラアカデミー嘱託演奏員を務め、兵庫芸術文化センター管弦楽団を経て現在名古屋フィルハーモニー交響楽団首席ヴィオラ奏者。名古屋市立菊里高校音楽科、名古屋芸術大学及び愛知県立芸術大学、各非常勤講師。第14回名古屋音楽ベンクラブ賞を受賞。

コントラバス 佐渡谷綾子

神奈川県相模原市出身。6歳よりピアノを習い、9歳でコントラバスを始める。東京音楽大学付属高校を経て、東京藝術大学音楽学部を卒業。第15回宝塚音楽コンクール入賞。第3回秋台音楽コンクールコントラバス部門第1位、および総合優勝である山口県知事賞受賞。2016年5月にコントラバスリサイタルを南麻布セントレホールで開催。小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトや、PMF、東京オペラの森に参加。また、山田和樹率いる横浜シンフォニエッタや、故田中千香土のもと集まったレトリュージョンアンサンブルにも出演。2015年1月1日より、名古屋フィルハーモニー交響楽団のコントラバス奏者として活動。現在首席奏者。今までに永島義男、西田直文、山本修、黒木岩壽、斎藤順の各氏に師事。名古屋芸術大学非常勤講師。

オーボエ 稲吉沙香

蒲郡市出身。桜丘高等学校音楽科卒業。くらしき作楽大学音楽学部音楽学科卒業。愛知県を拠点にオーケストラ、吹奏楽などで演奏活動を行いながら、レッスンやリード製作にも力を入れている。オーケストラ・アンサンブル金沢、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、日本センチュリー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、大坂交響楽団に客演。山本直人、曾付章宏各氏に師事。パロックスオーボエを尾崎温子氏に師事。

ヴァイオリン 井上絹代

愛知県立芸術大学卒業。ヴァイオリンを故松本貞雄、野上麻子、中村耕子各氏に師事。1977年名古屋フィルハーモニー交響楽団入団。1989年ベルリン留学。ヴァイオリンを安永徹氏に、室内楽をクラウス・ヘルヴィツに師事。ベルリン交響楽団に出演すると共に、室内楽でも活動をする。帰国後は、名古屋ヴィルトゥオーゼンのメンバーとして、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター、R.ホーネック、F.シュタイデ等と共演。名古屋フィルハーモニー交響楽団退団後は室内楽奏者、オーケストラの客演奏者として活動している。

チェロ 岩田彩子

名古屋市立菊里高校音楽科を経て、東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修了。第23回読売中継新人演奏会出演。これまでにチェロを林良一、菊地知也、河野文郎、上村昇の各氏に師事。現在、愛知県を中心に様々なオーケストラでの客演、室内楽活動をはじめ、後進の指導にもあたっている。また、2008年より賛同する音楽家を中心に多様な形で室内楽による、小児病棟や養護学校などを中心とした演奏会に行くのが困難な児童に向けてのコンサート活動を積極的に行っている。その他、ジャズや、ライブサポート、レコーディングなどジャンルを問わず活動中。チェロカルテットカリヨンメンバー。抱っこ合組曲マウラウの主宰をはじめ、良質な音楽教育の普及活動にも力を入れ、弦楽系の指導者講習会や勉強会なども定期的に主宰している。室内楽の演奏、指導も数多く行っており、トリオの指導及び共演者は年間100名を超える。名古屋音楽大学非常勤講師。日本ソルフェージュ研究協議会、日本音楽教育学会正会員。2017年よりアッセンジナゴヤ音楽部門ディレクター。

クラリネット 井上 京

九州大学卒業。在学中より、九州交響楽団においてオーケストラ、室内楽の演奏活動を開始。1981年名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団。1988年よりベルリン国立音楽大学にて、クラリネットをベーター・リークホフ教授に、室内楽をクラウス・ヘルヴィツに教授に師事。ベルリン芸術週間(Fest Wochen)に出演するとともに室内楽でも活動を行った。独奏者としても、モーツァルト・クラリネット協奏曲、協奏交響曲、シュターミッツ・クラリネット協奏曲、協奏交響曲等を名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。室内楽でもウィーン・フィルメンバー、P.シュミードル、E.オッテンザマー、R.ホーネック等と共演するなど多彩な活動を行っている。また指揮者としては、管弦楽団「袖」で2019年よりモーツァルト連続演奏に取り組んでいる他、名古屋ジグヴェスターコンサート・ニューイヤークンサートなどで、毎年ウィーン音楽を紹介している。豊田市ジュニアオーケストラとは指導者であると共にアメリカデトロイト公演に指揮者として同行し、好評を博す。

ピアノ 山本敦子

愛知県立芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。これまでにピアノを井上喜久子、杉浦日出夫、神野明、小津恒子、中島和彦、水本雄三の各氏に師事。大学卒業時より声楽伴奏、ソロ、室内楽、オーケストラ鍵盤奏者として活動を開始し、古典から現代曲まで数多くの鍵盤楽器を担当する。オペラの公演スタッフとして名古屋二期会、愛知県芸術劇場、長久手オペラ、三河オペラ、日生劇場等多くの公演に参加している。コンクールでの公式伴奏者を務める他、フィリッペでの声楽講習にも招かれた。現在愛知県立芸術大学大学院非常勤講師。2010年世界劇場会議名古屋文化賞。2018年名古屋音楽ベンクラブ賞。CBCクラブ会員。